

## フェスティバルが無事終わりました

9月30日(土)みきとくフェスティバルを行いました。感染症対策を強く気にしなくてもよくなった、4年ぶりのフェスティバルでした。好天に恵まれ、子どもたちは生き生きと活躍してくれていました。これも一重に、来賓並びに保護者の皆様にたくさんご参集いただき、暖かい声援をいただいたことよると感じています。心から感謝申し上げます。

フェスティバルの練習を9月第2週目から始めました。児童生徒の体力的・精神的な負担が大きくなるように、通常の時間割をできる限り維持しながら練習を行ってきました。進行や全体の見本になる役割の子どもにとっては、精神的な負担を感じながらも、役割を果たしたことの達成感は大かったと思います。その反面で、日常とは違うリズムや雰囲気を感じていたり、頑張ろうと強く思っていたりする子にとっては、どれくらい楽しんでいたのか、どれくらい達成感を感じてくれていたのか、確信が持ちにくいところです。このことはフェスティバルに限らず、学校行事すべてに言えることだと思います。

私たちは1つの行事が無事に終わったこと、子どもたちが楽しんでいたこと、達成感を感じてくれていたことを喜びながら、また一方で今後さらにどうしていくのが良いのかを考える必要があると思います。皆様のご感想、ご意見を伺えれば幸いです。

## 共生社会を考える講演会を 終了します

毎年8月に行ってきた「共生社会を考える講演会」を本年度で終了します。交流教育フォーラムとしてスタートし、かたちを変えながら約20年間続けてきました。これまでにパネラーとしてお話しいただいた保護者並びに教員の皆様、コーディネーターや講演をいただいた先生方、ありがとうございました。

共生社会の実現は理想ではありますが、実現への道のりは決して容易ではありません。真の共生社会とは、隣の人との違いを知り、それを認め合うことから始まります。それは、障がいがあるとかないとか、日本人であるとかないとか等のわかりやすい違いでなく、同じように思っている相手とも実は大きな違いがあることに気づくような、物事の本質を捉える視点への大きな転換です。

共生社会を考える講演会は終了しますが、本校はこれからも居住地校交流や地域校交流等を通して、真の共生社会の実現にむけて、特別支援学校としての役割を果たしていきます。ありがとうございました。

## 過ごしやすい季節です

ようやく涼しさを感じるようになってきました。暑さや寒さを感じる頃にはできなかったことにチャレンジするいい時期です。体力や体調に気をつけながら、ちょっと新しいことにも取り組んでいきましょう。

校長 橋本 泰一